

Juniper SRX 日本語マニュアル

Junos OS インストール & アップグレード

JUNIPER
NETWORKS

Driven by
Experience™

はじめに

- ◆ 本マニュアルは、Junos OS のインストールとアップグレード方法について説明します
- ◆ 手順内容は SRX300 、 Junos 21.2R3-S2 にて確認を実施しております
- ◆ 実際の設定内容やパラメータは導入する環境や構成によって異なります
各種設定内容の詳細は下記リンクよりご確認ください

<https://www.juniper.net/documentation/>

- ◆ 他にも多数の SRX 日本語マニュアルを「ソリューション & テクニカル情報サイト」に掲載しております
<https://www.juniper.net/jp/ja/local/solution-technical-information/security.html>

2022 年 8 月

アジェンダ

- ◆ ソフトウェアのダウンロード
- ◆ ソフトウェアのインストール準備
- ◆ CLI からのインストール (SRX に一旦コピー)
- ◆ CLI からのインストール (FTP サーバ上から)
- ◆ CLI からのインストール (USB メモリから)

ソフトウェアのダウンロード

下記サイトより Junos OS ソフトウェアとリリースノートをダウンロードします

<https://support.juniper.net/support/downloads/>

ソフトウェアのインストール準備

1. リリースノートには新しい機能、デフォルト動作の変更、既知の制限や不具合が記載されています
リリースノートは下記サイトからも入手が可能です

https://www.juniper.net/documentation/product/en_US/junos-os

2. SRX にコンソール接続を行い、インストール中または再起動時のログを保存してください
インストールに問題が発生した場合はそのログがサポートに必要となります

3. 再起動時に Candidate Config は消えてしまうため、commit が行われているか確認してください

```
user@srx# top
user@srx# show | compare
```

上記コマンド結果で保存する設定がある場合は commit を実施してください

4. 以下のコマンドを実施し、Config のバックアップを保存してください

```
user@srx> show configuration | no-more
```

ソフトウェアのインストール準備

5. 現在の Junos OS と Config をメディアへ保存してください

a. USB メモリの準備

b. 以下のコマンドを実施し、USB メモリへ Snapshot を保存

```
user@srx> request system snapshot media usb
```

6. Junos OS ソフトウェアイメージをコピーする場合 (J-Web からのソフトウェアインストールなど) は、CF サイズを確認し、未使用のファイルを削除してください

• CF サイズの確認コマンド

```
user@srx> show system storage | match cf
```

• 未使用ファイルの削除コマンド

```
user@srx> request system storage cleanup
```

ソフトウェアのインストール準備

Junos OS イメージのサイズが CF サイズに収まらない場合は次の方法を試してください

1. /var/log ディレクトリより traceoption ファイルや不必要なログを削除してください
削除を行ったログは復旧しませんのでご注意ください

```
user@srx> clear log <log-filename>
```

2. バックアップイメージを削除してください
バックアップイメージを削除すると request system software rollback コマンドを使用した rollback が行えなくなることにご注意ください

```
user@srx> request system software delete-backup
```

3. 大容量データとなっている CF 上のディレクトリを探してください

```
user@srx> show system directory-usage /cf
```

4. ディレクトリを参照して手動でファイルを削除します **※削除するファイルに注意**

```
user@srx> file list /cf/var/tmp  
user@srx> file delete /var/tmp/test.txt
```

CLI からのインストール (SRX に一旦コピー)

ソフトウェアを SRX にコピーし CLI を使用してインストールを実施します

1. SCP もしくは FTP を使用し SRX の /var/tmp へソフトウェアをコピーします

- SCP

```
user@srx> scp username@<ip address of local scp server>:junos-srxsme-21.2R3-S2.9.tgz user@srx:/var/tmp/junos-srxsme-21.2R3-S2.9.tgz
```

- FTP

```
user@srx> ftp <ip address of local ftp server> (and login)
user@srx> lcd /var/tmp
user@srx> bin
user@srx> get junos-srxsme-21.2R3-S2.9.tgz
user@srx> bye
```

2. 以下のコマンドを実行し、ソフトウェアをインストールします

```
user@srx> request system software add no-copy /var/tmp/junos-srxsme-21.2R3-S2.9.tgz
user@srx> request system reboot
```


CLI からのインストール (FTP サーバ上から)

FTP サーバ上のソフトウェアを、CLI を使用してダウンロードおよびインストールを実施します

- FTP サーバからソフトウェアを取得し、インストール後に再起動を実施する場合

```
user@srx> request system software add no-copy ftp://user:pass@172.16.1.1/junos-srxsme-21.2R3-S2.9.tgz
user@srx> request system reboot
```

※ no-copy オプションはストレージの容量を確保するために使用します

- FTP サーバ (anonymous) からソフトウェアを取得し、インストール後に再起動を実施する場合

```
user@srx> request system software add no-validate ftp://172.16.1.1/junos-srxsme-21.2R3-S2.9.tgz
user@srx> request system reboot
```

※ no-validate オプションはインストールする Junos OS との Config の互換性をチェックしない場合に使用します

CLI からのインストール (USB メモリから)

USB メモリから CLI を使用してインストールを実施します

1. Junos OS ソフトウェアを USB メモリへ保存します
2. USB メモリに関連付けられている USB デバイス ID を検索します (マウント操作のために root 権限昇格を実施)

```
user@srx> start shell
% su      ※ root 権限昇格
Password: ※ root パスワード
root@srx% ls /dev/da*
```

3. USB メモリをスロットに挿入します (slot 1 の場合は以下のようになります)

```
% umass1: vendor 0x0a6b product 0x0026, rev 2.00/0.26, addr 2
da1 at umass-sim1 bus 1 target 0 lun 0
da1: <GH PicoRM > Removable Direct Access SCSI-4 device
da1: 40.000MB/s transfers
da1: 3810MB (7802880 512 byte sectors: 255H 63S/T 485C)
```

※通常 da#s1 となります (上記の場合は da1s1)

4. マウントポイントを作成します

```
root@srx% mkdir /var/tmp/usb
```

CLI からのインストール (USB メモリから)

5. USB メモリをマウントします

```
root@srx% mount -t msdosfs /dev/<drivelabel> /var/tmp/usb
```

- 例) slot 1 の場合

```
root@srx% mount -t msdosfs /dev/dals1 /var/tmp/usb
```

- マウント後、ファイルを確認します

```
root@srx% ls /var/tmp/usb  
System Volume Information          junos-srxsme-21.2R3-S2.9.tgz
```

6. シェルモードを終了し、ソフトウェアをインストールします

```
root@srx% exit  
exit  
% exit  
exit  
user@srx> request system software add /var/tmp/usb/junos-srxsme-21.2R3-S2.9.tgz no-validate no-copy
```

7. インストール完了後、SRX を再起動します

```
user@srx> request system reboot
```



Thank you

JUNIPER
NETWORKS

Driven by
Experience™